関東学院大学理工学部機会学系3年次生対象講話

社会人として踏み出す諸君

日本ピーマック株式会社　豊浦 恭裕

これから就活を迎える皆さん！人それぞれで思いは異なると思いますが、期待や不安といった感情が揺れていることと拝察します。

社会人手一体何なのでしょうか？　実社会に出た人・職業を持つ成人と定義されていることは周知の通りです。その一歩目になるのが就職だと思います。

就職するには就活を行うことになりますその際、皆さんは自分にとっての「いい会社」を探さなければなりません。それでは自分にとっての「いい会社」とはどんな会社でしょうか？少し考えてみてください。

例えば、自分にとってを考慮せず学生の皆さんの言葉で「いい会社」を考えると、トヨタやパナソニック等TVCMに出る有名企業・日立やソフトバンク等の日本を代表する企業・給料や処遇等が際立つホワイト企業、認知度や企業イメージなど、いわゆるランキング上位の企業となるのでしょう。直近のニュースによると大企業では初任給が、３０万円台の会社も多くなりました、背景には人材確保があることは否めません。そういう会社が自分にとって「いい会社」と思うのであれば、そういう企業に対し就活すれば済むことです。ただし

企業が受け入れてくれるかどうかは別問題ですが！

しかしながら、皆さんには個性があり一人ひとり「いい会社」の基準があるはずです。・社会に貢献したい・大学の学びを生かしたい・成長できる環境・地元で活躍・○○の業界・仕事とプライベートの両立・海外を相手にしたい・給料が高い・福利厚生が充実している等々。

これから皆さんは、一人ひとりの基準に基づいて、

・自分にふさわしい会社

・やりがいを感じられる会社

を探しに行くという思いが強いことでしょう。

自分にとっての「いい会社」を見つけるうえで「自分自身の幸せの定義」「大切にしている価値観」この二つのカテゴリーについて自己分析をされることをお勧めします。是非ともやってみてください。

それが「自分らしく幸せに働くための会社選びに」繋がると思います。そして「自分の夢や目標にチャレンジできる会社」を選ぶことが大事です。

働くことは自分自身がどんな生き方をしたいのかという姿勢に通じます。もちろんすでに自分の意図する会社を目指している方はいらっしゃることでしょう就職までには、まだ時間はありますその業界の深堀をされることをお勧めします。

そういう現状で「働くということ」について悩む機会は多いと思います、悩む機会に対する普段の向き合う姿勢としては、皆さんの主観的な考えはどれも正解ですが、一つの考えに固執してしまうのは予想したとおりにうまくいかない可能性があります。自分の考えを軸に様々な意見を取り入れていく姿勢が重要です。働く人から様々な意見を見聞きすることで自分にプラスになります。

見聞きするチャンスは日常至る所に転がっています。

バイト先・ボランティア活動・OB訪問・家族・先輩・友人・教授・インターンシップ等多

多くの働く人と会う機会を積極的に作り、様々な意見に触れてみることは大事です。ぜひチャレンジしてみてください。そこで、どんな会社がありどんな役割を担っているかを知ることもできるし裏を返せば知っておく必要もあります。

最後になりますが、これから社会人として活躍する皆さんへ

スタンス（姿勢・態度）

・物事に過度に執着せず、変化を受け入れる柔軟性を持ってほしい

・自然体で自分に正直でいてほしい（相手によって態度を変えない　嘘をつかない）

・仕事を通じて自ら成長する。

就職活動へのアドバイス（就活に限ったことではない）

　「なりたい」（ゴール）ではなく「なったら」（過程）で考えてほしい

哲学者　三木　清の言葉を紹介して終わります。

　「個性は一人ひとり異なるということです。ただそれは単に他の人と違うという意味ではなく、一人ひとりが無限大の可能性を秘めているという意味」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上